

# マニフェスト工程計画

3つの基本理念・10の戦略・42の提案

## 自己評価表

(令和5年7月)

基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

基本理念2 子育て豊川応援団

基本理念3 市民と創る協働と健全財政のまち

元気なとよかわ 子育てにやさしく 人が集うまち



## 1 マニフェスト工程計画自己評価表について

このマニフェスト工程計画自己評価表（令和5年7月）は、令和2年2月に発表したマニフェスト工程計画について、令和4年度までの実施状況や本年度の取組内容を明らかにするとともに、事業によって得られる成果や工程計画に対する事業の進捗を踏まえて、市長が自己評価をしたものです。

## 2 自己評価評点について

自己評価の評点については、概ね下記の基準としています。

点数	基準
5	工程計画を実行し、事業の完了または目的達成
4	工程計画より早い又は内容（効果）を超えた事業の進捗
3	工程計画どおりの事業の進捗
2	工程計画より遅い又は内容に満たない事業の進捗
1	工程計画よりかなり遅い又は内容に満たない事業の進捗

また、基本理念ごとに配点を下記のように定め、合計が100点になるように調整して合計点を算出しています。

基本理念	配点
1 暮らしやすさ第一豊川市	40点
2 子育て豊川応援団	30点
3 市民と創る協働と健全財政のまち	30点

## 3 マニフェスト項目別評点一覧

総合評点		
R3	R4	R5
68/100点	74/100点	80/100点

## 基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

毎年1,000人の社会増を目指す

R3	R4	R5
25/40点	29/40点	31/40点



戦略1 雇用の創出など人口増施策【人口増】	R3 評点	R4 評点	R5 評点
提案1 商業施設誘致も含めた八幡地区まちづくりの推進	4	4	5
提案2 愛知御津駅橋上化建設整備	3	3	3
提案3 新規工業団地整備	2	3	3
提案4 市長自らによる企業誘致トップセールス	1	3	3
提案5 市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲	3	3	3
戦略2 活みなぎる元気なまち【産業・観光】			
提案6 商工会議所・商工会・農協と連携した産業支援	4	4	4
提案7 既存商業者に対する新規支援事業の創設	3	4	4
提案8 創業・起業支援事業の拡充	3	4	4
提案9 バラを始め豊川ブランドの全国PR	3	3	3
提案10 観光・シティセールスの推進	3	3	4
戦略3 市民の安全・安心を守る			
【安全・安心・基盤整備】			
提案11 消防署本署の建替	3	3	3
提案12 防災行政無線の更新	3	5	5
提案13 市民ニーズ調査による防犯カメラ設置	4	4	4
提案14 高齢ドライバー後付け安全装置への助成	5	5	5

	R3	R4	R5
	評点	評点	評点
提案15 通学路危険箇所の一斉点検と安全対策	3	3	4
提案16 ストリートデザインマネジメントの推進	3	3	4
提案17 町内会要望等住民密着予算の拡充	4	4	4

## 戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

### 【文化・スポーツ】

提案18 桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」リニューアル改修	4	4	5
提案19 地域間(ゆかりのある自治体)交流の推進	3	3	4
提案20 テニスコート12面を含めた豊川公園の再整備	4	4	5
提案21 リレーマラソン等おもてなし事業の拡充	1	3	3

## ★愛知県の人口動向統計による人口増減推移 (人)

	R1	R2	R3	R4
人口	184,457	184,661	184,572	184,357
自然増減	—	▲355	▲493	▲663
社会増減	—	559	404	448
合計増減	—	204	▲89	▲215

※R1・R2…平成27年国勢調査結果を基礎として推計してきた人口と令和2年国勢調査による人口(確定値)に差が生じたため、令和2年国勢調査結果に接続するよう、差分を過去5年間の各月に割振った遡及改定後の数値(令和4年3月22日発表)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/aichinoinkou-kaiteichi2020.html>

※R3…令和3年12月発表(令和2年10月1日～令和3年9月30日)数値

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/0000077333.html>

※R4…令和4年12月発表(令和3年10月1日～令和4年9月30日)数値

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/toukei20221222jinkolnew.html>

### 【参考：国勢調査人口】

平成27年	182,436
令和2年	184,661
増減	2,225

## 基本理念2 子育て豊川応援団

### 日本一子育てしやすいまち

R3	R4	R5
23/30点	24/30点	24/30点



#### 戦略5 子育て世代を全力で応援【子育て支援】

	R3 評点	R4 評点	R5 評点
提案22 高校3年生世代までの入院医療費無料化	5	5	5
提案23 民間も含めた保育園の計画的な建替整備	3	3	3
提案24 保育園の老朽化等危険遊具の早期改修	4	5	5
提案25 総合保健センター内に妊産婦ケアセンター創設	3	4	4

#### 戦略6 子どもたちに希望を与える教育

##### 【教育】

提案26 小中学校学級運営支援員の拡充	4	4	4
提案27 外国籍児童生徒を対象としたこぎつね教室の拡充	4	4	4
提案28 地産地消の推進と「生きる力」を育む食育教育の充実	4	4	4

#### 戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち

##### 【健康福祉】

提案29 総合保健センター建設整備	3	3	3
提案30 運動器機能向上など介護予防事業の充実	4	4	4
提案31 シルバー人材センター事業への支援拡充	4	4	5
提案32 障がい者の積極的な採用計画	3	3	3
提案33 障がい者相談事業の拡充	4	4	4

## 基本理念3 市民と創る協働と健全財政のまち

### 市民が主役の市政を進める

R3	R4	R5
20/30点	21/30点	25/30点



### 戦略8 市民の主体的な活動を応援

#### 【市民との協働】

	R3 評点	R4 評点	R5 評点
提案34 消防団員・交通指導隊員等の処遇改善	4	5	5
提案35 町内会加入率低下対策プロジェクトの設置	4	4	4
提案36 ボランティア・NPOマンパワー養成事業	3	3	4

### 戦略9 みんなで行動する環境のまち【環境】

	R3	R4	R5
提案37 再生エネルギーの活用促進	4	4	4
提案38 パーク・アンド・ライドの推進	3	3	3
提案39 地域猫に対する補助制度創設	5	5	5

### 戦略10 行財政改革と健全財政の堅持

#### 【行財政運営】

	R3	R4	R5
提案40 職員の意識改革と職員研修の充実	4	4	4
提案41 公共施設の安全性・機能向上と総量削減	2	2	3
提案42 一般会計市債残高の30億円削減	1	2	5

# 4

## マニフェスト工程計画自己評価表の見方

令和2年2月公表の工程計画を記載しています。

### 基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

提案 1

#### 戦略1 雇用の創出など人口増施策

#### ① 商業施設誘致も含めた八幡地区まちづくりの推進

提案	実施内容
1	商業施設周辺に係る交通の円滑化を図るために周辺道路を整備します。

担当：都市整備部八幡駅周辺地区まちづくり推進室、建設部道路建設課

1. 工程計画(下図)は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
周辺道路の計画策定及び整備				
41.4	470.7	968.0	1081.4	100.0

検討、調整、準備、段階的实施 (予算を伴わない取組)
   
 既存の取組
   
 マニフェストによる新規取組実施
   
 マニフェストにより既存の取組を拡充実施

#### 2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
道路改良延長				1,005	1,005	
交差点改良箇所数(篠栗野口線)	実績		3箇所	(2箇所)		
その他基盤施設検討	目標		1式	1式	1式	1式
	実績		1式	(1式)		

事業実施状況の年度ごとの活動指標やスケジュールの目標・実績が記載されています。実績の( )は令和5年度予算に計上された活動予定の数です。

#### 3. 進捗状況

前年度までの実施状況	令和2年度までに都市計画道路篠栗野口線、篠栗野口線、篠栗野口線の道路詳細設計を実施し、内1路線について用地買収を実施した。また、都市計画道路篠栗野口線について、道路詳細設計、道路拡幅改良を実施した。
今年度以降の取組予定	令和4年度までの実施状況と、令和5年度以降の取組内容・方針を記載しています。
全ての路線について、令和4年度末の供用開始を目標として事業を進捗させる。令和3年度は市道蔵子白鳥線はじめ3路線の用地買収及び全路線の道路拡幅改良工事、交差点改良工事等を実施する。	

令和4年度までの実施状況と、令和5年度以降の取組内容・方針を記載しています。

#### 4. 評価

事業の成果等	道路改良及び交差点改良工事の協力が完了したため、道路拡幅改良工事の着手が可能となった。		
進捗状況に対する評価	事業実施による令和4年度までの成果及び令和5年度の予算措置などが記載されているとともに、事業の進捗状況及び自己評価の内容を記載しています。		
公安委員会等による評価	公安委員会等による評価結果は、令和4年度末の供用開始を目標として事業を進捗させる。令和3年度は市道蔵子白鳥線はじめ3路線の用地買収及び全路線の道路拡幅改良工事、交差点改良工事等を実施する。	R3	4
		R4	4
		R5	

1～5点の自己評価点を記載しています。

戦略 1 雇用の創出など人口増施策

① 商業施設誘致も含めた八幡地区まちづくりの推進

提案	実施内容
1	商業施設周辺に係る交通の円滑化を図るために周辺道路を整備します。

担当：都市整備部市街地整備課、建設部道路建設課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
周辺道路の計画策定及び整備				
41.4	470.7	968.0	1081.4	100.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
道路改良延長	目標			1,285m	1,625m	
	実績			1,285m	1,625m	
交差点改良箇所数(篠東野口線)	目標		3箇所	2箇所		
	実績		3箇所	2箇所		
その他基盤施設検討	目標		1式	1式	1式	1式
	実績		1式	1式	1式	(1式)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
都市計画道路蔵子線はじめ4路線について、令和3・4年度で計2,910mの道路改良工事を実施し、完了した。 都市計画道路篠東野口線について、令和2・3年度で計5箇所の交差点改良を実施し、完了した。 日立製作所跡地について、土地開発公社から大手住宅メーカーへ売却した。令和4年度中に大手住宅メーカーによる造成工事が完了し、分譲が開始された。
今年度以降の取組予定
大型商業施設オープンに伴う自動車交通の増加に継続して対応する。

4. 評価

事業の成果等		
計画どおりに交差点改良工事、道路改良工事を完了し、令和5年3月の大規模商業施設オープンに伴う大規模な交通渋滞等の発生を回避することができている。また、日立製作所跡地における大手住宅メーカーによる97戸の分譲が順調に進捗しており、本市の交流人口増加、雇用の創出、人口増加を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って整備を完了し、マニフェストを達成したと評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	5

戦略1 雇用の創出など人口増施策

② 愛知御津駅橋上化建設整備

提案	実施内容
2	愛知御津駅の橋上化整備を実施します。

担当：都市整備部市街地整備課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
27.0	71.0	237.7	160.1	201.5

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
駅前広場の整備	目標	現況測量・基本設計	用地交渉	用地交渉	用地交渉	用地取得
	実績	現況測量・基本設計	用地交渉	用地交渉	用地交渉	(用地取得)
愛知御津駅の橋上化、自由通路整備に向けた鉄道事業者との調整	目標		概略設計		事業合意	工事協定
	実績		概略設計		事業合意	(設計協定)
都市計画変更及び事業認可実施業務	目標			資料作成	実施	
	実績			資料作成	実施	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p><b>【駅前広場整備】</b> 令和元年度に基本設計と測量設計を行い、その成果を基に令和2年度から用地交渉と土地開発公社による用地先行取得を開始した。また、令和3年度から都市計画変更の手続きを開始し、令和4年度に都市計画審議会の承認を得た。</p> <p><b>【橋上化、自由通路整備】</b> 令和2年度に、JR東海による概略設計により、想定図、概算事業費を明らかにし、令和3年度以降は概略設計を基に自由通路新設・橋上駅舎化について協議を進め、令和4年度に事業合意の覚書を締結した。</p>
今年度以降の取組予定
<p><b>【駅前広場整備】</b> 令和5年度に都市計画変更の告示(変更の正式決定)を行い、自由通路完成後の整備に向け、引き続き土地開発公社による用地先行取得を行う。</p> <p><b>【橋上化、自由通路整備】</b> 令和5年度にJR東海と設計協定を締結し、その後、工事着手に向けた詳細設計等の調整を行いながら工事協定を締結し、令和10年度の供用開始を目的に整備を進める。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>用地交渉、JR東海との協議等、着実に愛知御津駅橋上化建設整備に向けた調整等を進めることができている。ただし、当初は令和5年度に設計を含む工事協定を計画していたが、資材高騰等の影響を踏まえ、設計協定のみ令和5年度に締結し、工事協定を令和6年度に先送ることとした。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>急激な社会経済情勢の変化の影響を受け、やむを得ず工事協定が先送りとなったが、令和10年度における自由通路等の供用開始を目指す調整は着実に進捗しているため、工程計画に沿って進んでいると評価する。</p>	R3	3
	R4	3
	R5	3

戦略1 雇用の創出など人口増施策

③ 新規工業団地整備

提案	実施内容
3	新規工業団地の整備に係る候補地調査、評価・選定、関係機関等との調整を行います。

担当：産業環境部企業立地推進課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
候補地調査 				
3.8	4.5	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
工業適地現況調査業務委託	目標	実施				
	実績	実施				
工業適地評価等業務委託(R2) 工業用地概略検討業務委託(R3)	目標		実施	—		
	実績		実施	実施		
開発にかかる各種設計等調査委託・関係機関との調整	目標			実施	実施	実施
	実績			実施	実施	(実施)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
白鳥地区に次ぐ新規工業団地整備に向け、令和2年度までに開発候補地を2地区へ絞り込み、令和3年度に情報収集、現地踏査や開発要件等の課題整理により事業化推進優先地区を選定した。令和4年度は、事業化推進優先地区の地元役員等への説明や地権者へのアンケート調査等による意向調査、関係機関等との協議・調整を行った。
今年度以降の取組予定
事業化推進優先地区における交通アクセスの確立や、排水等の課題解決に向けた設計調査業務委託を実施し、関係各機関と協議を進めるとともに、引き続き事業への協力や理解が得られるよう地元に対して丁寧な説明を行う。

4. 評価

事業の成果等		
企業ニーズの把握、開発候補地の情報収集、現地踏査及び開発要件等の課題整理を行った上で事業化推進優先地区の選定ができ、また、地権者から事業に対する前向きな回答を得ることができている等、着実に新規工業団地整備に向けた調整を進めることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
地権者意向調査では概ね事業に協力する意向が得られ、関係機関等との調整も順調に進捗しているため、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	2
	R4	3
	R5	3

戦略1 雇用の創出など人口増施策

④ 市長自らによる企業誘致トップセールス

提案	実施内容
4	企業誘致に向けて、市長が各企業へトップセールスを随時実施します。

担当：産業環境部企業立地推進課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
情報交換会等でトップセールスを実施				
—	未定	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市長自らによる企業誘致トップセールス実施回数	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		0回	2回	2回	(2回)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でトップセールスを実施できなかったが、令和3年度は愛知県主催の産業立地セミナー(東京都、大阪府)、令和4年度は愛知県主催の産業立地セミナー(東京都)と、豊川市企業立地情報交換会(市内)において、市長自らプレゼンテーションを実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き愛知県主催のセミナー等へ積極的に参加し、市長自ら企業誘致プレゼンテーションを実施し、企業誘致を目指す。

4. 評価

事業の成果等		
トップセールスを実施したことで、問い合わせが複数件寄せられる中、令和元年度から令和4年度までで、御津臨海部における5社7区画の企業進出や、大手企業による本社機能の市内移転につなげることができた。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一部の活動ができなかったものの、企業を6社誘致できたため、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	1
	R4	3
	R5	3

戦略 1 雇用の創出など人口増施策

⑤ 市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲

提案	実施内容
5	未活用地となった市有地を売却します。

担当：財務部財産管理課、建設部建築課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市有地の売却に係る計画を策定				
市営住宅の入居者移転・解体工事				
13.4	32.4	31.9	13.2	12.9

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
未活用地となった市有地の売却	目標		測量	鑑定・売却等	鑑定・売却等	売却等
	実績		測量	売却	鑑定・売却等	(鑑定・売却等)
みなと住宅移転・解体・売却	目標	移転督励・解体	解体工事	跡地整備等	鑑定	売却等
	実績	移転督励・解体	解体工事	跡地整備等	鑑定	(鑑定・売却等)
萩住宅移転・解体・売却	目標	移転督励	移転督励・解体	移転督励・解体	解体・測量調査	解体工事
	実績	移転督励	移転督励・解体	移転督励・解体	解体・測量調査	(解体工事)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【市有地の売却】 売却に向けた測量・鑑定等を行い、令和2年度から令和4年度までで、計4,758.59㎡の市有地を売却した。 【市営住宅の解体工事】 みなと住宅は令和2年度に入居者の移転と解体工事が完了した。萩住宅は令和3年度に入居者の移転が完了し、令和4年度に13棟のうち10棟の解体工事を実施した。
今年度以降の取組予定
【市有地の売却】 引き続き、不動産鑑定等の準備や看板等による周知を行い、売却を進める。 【市営住宅の解体工事】 令和5年度に、萩住宅の残り3棟の解体工事を実施する。

4. 評価

事業の成果等		
市営住宅の解体工事等は予定どおり進捗している一方、市有地の売却については、売却済の市有地4,758.59㎡のうち宅地に転換された土地は628.54㎡にとどまっている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
未活用地となった市有地について、さらなる宅地転換が望まれるものの、市営住宅の解体等が着実に進捗しているため、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	3



戦略2 活みなぎる元気なまち

② 既存商業者に対する新規支援事業の創設

提案	実施内容
7	既存商業者に対する新たな支援事業を創設します。

担当：産業環境部商工観光課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業内容の検討		新規支援事業の実施		
	—	—	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新たな支援事業の検討、実施	目標		調査・検討	調査・検討	実施	実施
	実績		実施検討	実施検討	実施	実施

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
商工会議所における「にぎわい創出委員会」等において意見交換を行い、令和4年度に、地域内循環を意識した商業者を育成するため、商工会議所が行う「強い商業者育成事業」に要する経費の一部を補助する制度と、強い商業者育成事業に参加し、事業計画書を策定した商業者が行う新たなサービスの展開等の実施に要する経費の一部を補助する「強い商業者実践事業」を創設し、補助金を交付した。
今年度以降の取組予定
引き続き、商工会議所が行う「強い商業者育成事業」への支援と、市が行う「強い商業者実践事業」により、既存商業の活性化を図る。

4. 評価

事業の成果等		
令和4年度に、「強い商業者育成事業」は24社35人が、「強い商業者実践事業」は2社2人利用し、新たな制度での既存商業者支援を行うことができた。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
商工会議所をはじめとした各種経済団体等と連携した上で、ニーズを踏まえた新たな支援事業を創設し、補助金を交付することができているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	3
	R4	4
	R5	4





戦略 2 活みなぎる元気なまち

⑤ 観光・シティセールスの推進

提案	実施内容
10	とよかわブランドに認定されている集客力の高い赤塚山公園の交流人口増加策等を目的とした再整備を行うとともに、都市圏プロモーションの拡充や、定住促進ガイドブックの作成、メディアリレーション活動強化事業を実施します。

担当：都市整備部公園緑地課、元気なとよかわ発信課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討				
40.4	66.1	242.1	217.7	82.7

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
赤塚山公園再整備	目標	基本計画	整備工事	整備工事	整備工事	
	実績	基本計画	整備工事	整備工事	整備工事	
民間活力を導入した赤塚山公園の運営	目標	導入可能性調査	公募事業者選定	覚書締結	施設整備	供用開始
	実績	導入可能性調査	公募事業者選定	覚書締結	施設整備	供用開始
都市圏プロモーションの実施回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	0回	1回	2回	(2回)
メディアリレーション活動強化事業	目標		検討・調査	実施	実施	実施
	実績		検討・調査	実施	実施	(実施)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p><b>【赤塚山公園再整備】</b> 第1駐車場の再配置、水の広場の充実のための再整備工事、アニアまあるの再配置、芝生広場内の大型遊具設置、第3駐車場の拡充等の再整備工事を実施した。また、東三河では初となる、公募設置管理制度で選定した民間事業者により整備された飲食物販施設等の供用開始を行った。</p> <p><b>【都市圏プロモーションの拡充等】</b> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定した回数を実施できなかったものの、定住促進ガイドブックの名鉄主要駅への設置や市内商業施設で配布する活動等を実施した。メディアリレーション活動強化事業では、豊川豊(歌手の山川豊さん)による「豊川って、豊かだ」キャンペーンを実施し、市制80周年記念ソング「豊川、豊か」ミュージックビデオ等を配信する等、豊川市の豊かな魅力を発信した。</p>
今年度以降の取組予定
<p><b>【赤塚山公園再整備】</b> 再整備工事が完了し、一新した公園施設と民間事業者によって整備された飲食物販施設等を最大限に活用し、イベント開催等を通してさらなる集客・交流人口の増加を図る。</p> <p><b>【都市圏プロモーション】</b> 令和5年度は、市制施行80周年PRアンバサダーに就任した豊川豊が、80周年記念事業へ出席して盛り上げるとともに、多くの市民等に豊川市の豊かさを尋ねる動画を制作・配信することで、豊川市の豊かな魅力の発信をさらに強化する。</p>

4. 評価

事業の成果等		
赤塚山公園は計画どおりに再整備を完了し、リニューアルイベントでは市民団体との協働により多数の来場者を迎え、豊川稲荷に次ぐ観光施設として、さらなる魅力の向上を図ることができた。シティセールスでは、新たに定住促進サイトを構築して移住希望者への発信窓口を設置し、作成した動画が各種メディアに取り上げられるなど、「元気なまち」をPRすることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
都市圏プロモーションにおいて一部、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で工程計画どおりに実施できなかった活動があるものの、赤塚山公園の再整備を完了し、「元気なまち」のPR活動を強化できているため、Manifestの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	4

戦略3 市民の安全・安心を守る

① 消防署本署の建替

提案	実施内容
11	建設用地の選定を踏まえて消防署本署庁舎の建て替えを進めます。

担当：消防本部消防総務課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・研究の実施				
基本計画の策定				
基本設計及び実施設計の策定				
—	6.6	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
消防署本署の建替	目標	調査・研究	基本構想	基本計画	基本設計	実施設計
	実績	調査・研究	基本構想	基本計画	基本設計	(実施設計)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度に基本構想、令和3年度に基本計画を策定し、令和4年度は基本設計の策定と、隣接地の用地取得を行った。
今年度以降の取組予定
基本設計を踏まえて、令和5年度に実施設計を行い、令和6年度の建設工事着工と早期竣工を目指す。

4. 評価

事業の成果等		
基本構想の策定から実施設計の実施まで順調に事業が進捗しており、着実に消防署本署建替に向けた工程を進捗させることができています。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	3

戦略 3 市民の安全・安心を守る

② 防災行政無線の更新

提案	実施内容
12	防災情報伝達システムを更新します。

担当：危機管理課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新システム整備				
14.8	734.7	716.4		

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
防災情報伝達システムの整備	目標	実施設計	整備委託	整備委託		
	実績	実施設計	整備委託	整備完了		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
新システムの機能の一つである防災アプリの運用を令和3年6月から開始し、令和4年1月には全市域で新システムの運用を開始した。
今年度以降の取組予定
引き続き、システムの運用を行う。

4. 評価

事業の成果等		
屋外スピーカーを全市域的に配備し、不感(音声が届かない)地域の解消を図るとともに、防災アプリの導入により、様々な手段で情報を提供することが可能となり、災害時における市民への情報伝達手段の充実を図ることができた。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って整備を完了し、マニフェストを達成したと評価する。	R3	3
	R4	5
	R5	5

戦略3 市民の安全・安心を守る

③ 市民ニーズ調査による防犯カメラ設置

提案	実施内容
13	町内会による防犯カメラ設置に対する補助を拡充するとともに、市内の主要な幹線道路等に防犯カメラを設置します。

担当：市民部人権生活安全課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位：百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ニーズ調査				
補助率の拡充				
防犯カメラの設置				
2.0	6.4	6.7	6.7	6.7

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
防犯カメラ設置費補助事業の補助率	目標	80%	80%	90%	90%	90%
	実績	80%	80%	90%	90%	(90%)
市内幹線道路等への防犯カメラ設置台数	目標		50台	保守・活用	保守・活用	保守・活用
	実績		50台	保守・活用	保守・活用	保守・活用

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p><b>【防犯カメラ設置に対する補助の拡充】</b> 令和2年度に連区及び町内会に対するニーズ等を把握するアンケートを行い補助率の拡充を検討し、令和3年度から補助率を90%に拡充して事業を実施した。</p> <p><b>【市内幹線道路等への防犯カメラ設置】</b> 令和2年度に市内の主要交差点に41台及び防犯カメラ未設置の公共自転車駐車場に9台、計50台の防犯カメラを設置し、運用している。</p>
今年度以降の取組予定
<p><b>【防犯カメラ設置に対する補助の拡充】</b> サンセット方式により令和3年度から令和5年度まで補助率90%とし、3か年で、防犯活動を行う連区や町内会への支援を集中的に実施する。</p> <p><b>【市内幹線道路等への防犯カメラ設置】</b> 適切な保守に努め、犯罪発生時などに警察から防犯カメラ録画情報の提供を求められた場合は、速やかに提供を行う。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>補助率を拡充した令和3年度は、5団体9台、令和4年度は6団体9台の防犯カメラ設置補助の利用があり、町内会による防犯カメラの設置を支えることができています。</p> <p>市内幹線道路等に設置した防犯カメラについては、警察からの録画情報提供依頼が年間約30件程度あり、犯罪抑止力の向上に資することができています。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>工程計画に沿って事業を実施し、地域における犯罪抑止と警察の捜査における有効活用が図られているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。</p>	R3	4
	R4	4
	R5	4

戦略 3 市民の安全・安心を守る

④ 高齢ドライバー後付け安全装置への助成

提案	実施内容
14	高齢ドライバー後付け安全運転支援装置設置費補助を実施します。

担当：市民部人権生活安全課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討・調整				
安全運転支援装置設置費補助の実施				
—	6.0	7.2	7.2	

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
安全運転支援装置補助件数	目標		100台	100台	100台	
	実績		115台	51台	16台	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
高齢運転者の踏み間違いを防止する、後付け安全運転支援装置設置に対する補助事業を令和2年度から開始した。併用可能であった国のサポカー補助金が令和3年10月29日に終了したため、令和3年10月30日より、市の補助金の限度額について、障害物検知機能付を32,000円から60,000円に、障害物検知機能なしを16,000円から30,000円に増額し、令和4年度も同内容で事業を実施した。
今年度以降の取組予定
踏み間違い防止機能は、新車搭載率が9割を超え標準装備化が進んでいるため、当初の計画通り令和4年度で終了した。今後は、自主返納支援事業や自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金等により、高齢者の交通事故防止活動への支援を継続する。

4. 評価

事業の成果等		
本補助制度を創設し、継続実施したことで、安全運転支援装置の設置が促進され、高齢者による自動車事故の低減等、交通の安全性向上を支えることができた。		
ペダル踏み間違い急発進抑制装置の標準装備化が進んだことで、目標値を下回る実績となったが、工程計画に沿って事業を実施し、マニフェストを達成したと評価する。	R3	5
	R4	5
	R5	5

戦略 3 市民の安全・安心を守る

⑤ 通学路危険個所の一斉点検と安全対策

提案	実施内容
15	通学路における一斉点検や安全対策事業を行います。

担当：建設部道路河川管理課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討・調整 通学路危険個所の点検会議の開催、安全対策事業の実施 				
—	6.6	6.7	6.7	

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
豊川市通学路安全推進会議の実施回数	目標		3回	3回	3回	
	実績		3回	3回	3回	
安全対策事業(カラー舗装)の実施校区数	目標		2校区	2校区	2校区	
	実績		2校区	2校区	3校区	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
豊川市通学路安全推進会議を開催し、会議の中で挙げられた危険個所において反射鏡設置や区画線の設置、引き直し等を実施した。令和2年度から4年度にかけて、小学校計7校区において、学校との調整に基づき、必要箇所にカラー舗装を実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き豊川市通学路安全推進会議において、PDCAサイクル(合同点検に基づく対策の検討と実施、対策効果の把握、対策の改善・充実)を繰り返し実施し、計画的に交通安全対策の強化を進めるとともに、カラー舗装を順次実施していく。

4. 評価

事業の成果等		
豊川市通学路安全推進会議を計画的に実施し、安全対策事業(カラー舗装)は当初目標を上回る校区数を実施し、通学路の安全性向上を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って事業を実施し、カラー舗装の実施校区数の実績が目標を上回ったため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	4

戦略 3 市民の安全・安心を守る

⑥ ストリートデザインマネジメントの推進

提案	実施内容
16	桜町千両線において自転車歩行者道やベンチ等の設置を行い、市民が親しめる歩行者空間の整備を行うとともに、市内主要幹線道路等における無電柱化の推進を図ります。

担当：建設部道路建設課、都市整備部市街地整備課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		自転車歩行者道の整備	ベンチ等整備	
調査		可能性調査委託	推進計画	概略設計
71.2	64.1	115.5	90.5	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
桜町千両線道路改良延長(自転車歩行者道の整備)	目標	320m	用地買収・物件補償	460m	400m	
	実績	320m	用地買収・物件補償	460m	400m	
無電柱化の推進	目標		調査検討	調査検討	計画策定	予備設計
	実績		調査検討	調査検討	計画策定	(予備設計)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p><b>【桜町千両線自転車歩行者道整備】</b> 用地買収・物件補償及び全延長1,180mの道路改良工事により自転車歩行者道を整備し、ベンチ、照明灯の設置と桜の植樹を実施した。</p> <p><b>【無電柱化の推進】</b> 令和4年度に豊川市無電柱化推進計画を策定した。また、県道国府馬場線の無電柱化について、愛知県へ進捗状況の確認を随時行った。</p>
今年度以降の取組予定
<p><b>【無電柱化の推進】</b> 豊川市無電柱化推進計画において、無電柱化第一候補路線とした市道前田豊川線の無電柱化事業の予備設計を実施する。</p>

4. 評価

事業の成果等		
桜町千両線自転車歩行者道整備が完了し、無電柱化の推進については計画策定と予備設計に着手しており、ストリートデザインマネジメントの推進を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
桜町千両線自転車歩行者道の整備を完了し、無電柱化の推進に向けた取組を工程計画どおり進捗させることができているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	4

戦略 3 市民の安全・安心を守る

⑦ 町内会要望等住民密着予算の拡充

提案	実施内容
17	無蓋側溝の蓋付側溝への改良や路肩整備等による歩行者通行帯等の整備を行います。

担当：建設部道路建設課、道路河川管理課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
改良工事等の拡充				
300.6	329.7	350.0	350.0	300.6

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
要望に基づく改良工事等の件数	目標	44件	38件	51件	55件	43件
	実績	44件	38件	117件	30件	(43件)
整備工事費 (単位:百万円)	当初予算	300.5	329.6	360.9	346.0	283.0
	決算	310.7	356.8	352.0	339.3	(283.0)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度から3年間の予算拡充を行い、町内会等要望に係る改良・整備工事を積極的に実施した。(令和4年度に件数が減少しているのは、工事費が多額の案件を施工したため)。
今年度以降の取組予定
令和2年度から3年間のサンセット方式による事業であるため、令和5年度以降は従前の予算規模を確保し、町内会要望に係る改良・整備工事を効率的に進捗させる。

4. 評価

事業の成果等		
年度ごとに改良工事等の件数や決算額にばらつきはあるものの、3年間合計では目標値以上の改良工事等を実施し、交通安全性の向上を図ることができた。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って事業を実施し、要望に基づく改良工事等件数の実績が目標を上回ったため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	4

戦略 4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

① 桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」リニューアル改修

提案	実施内容
18	利用者の意見を踏まえて、桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」をリニューアル改修します。

担当：市民部文化振興課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討				
基本構想策定				
設計実施				
改修工事				
—	—	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」の改修	目標		基本設計	実施設計	改修工事	供用開始
	実績		基本設計	実施設計	改修工事	供用開始

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度に基本設計、令和3年度に実施設計、令和4年度に改修工事を実施し、令和5年3月19日に豊川市桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」リニューアル記念式典を開催し、供用を開始した。
今年度以降の取組予定
積極的な周知に努め、利用者の拡大を図る。

4. 評価

事業の成果等		
基本設計に茶室利用者等からのアンケート結果を反映することや、文化協会茶道部と調整することにより、バリアフリーに配慮した立礼席や水屋の増築工事等を実施でき、使いやすい施設とすることができた。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って整備を完了し、マニフェストを達成したと評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	5

戦略 4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

② 地域間（ゆかりのある自治体）交流の推進

提案	実施内容
19	他自治体と連携を図り、豊川市にゆかりのある内容の展覧会を開催します。

担当：市民部文化振興課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	調査・検討		展覧会の実施	
	—	—	7.8	—

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
地域間(ゆかりのある自治体)交流の推進	目標		調査・検討	調査・検討	展覧会開催	
	実績		検討	史料調査・協議	展覧会開催	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和4年度に、豊川ゆかりの大家が存する自治体6市(新潟県長岡市・滋賀県大津市・静岡県牧之原市・愛知県西尾市・愛知県岡崎市・愛知県豊橋市)と連携して特別展「とよかわ紋・藩ワールド」を開催した。また、展覧会のみならず、ワードラリー(スタンプラリーのキーワード版)や、互いの市を紹介するパネルの掲出、ミュージアムグッズの受託販売等を連携して実施した。
今年度以降の取組予定
事業としては令和5年度の開催予定はないが、事業をきっかけに交流が生まれた自治体6市と、今後も情報交換等の交流を継続していく。

4. 評価

事業の成果等		
地域間(ゆかりのある自治体)交流を推進するテーマの展覧会を開催し、今後の自治体間交流の可能性を広げることができた。展覧会については、来場者目標を5,000人と想定していたが、250%超えの12,881人となり、魅力ある事業として開催することができた。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って「とよかわ紋・藩ワールド」を開催し、想定の2倍以上の来場者が訪れたとともに、これをきっかけとした新たな自治体間交流を創出できたことから、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	4





戦略5 子育て世帯を全力で応援

① 高校3年生世代までの入院医療費無料化

提案	実施内容
22	入院に係る医療費保険診療分の自己負担額の全額助成を、高校3年生世代までに拡大します。

担当：福祉部保険年金課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討・調整				
入院医療費の無料化対象の拡大				
4.3	13.4	13.0	13.0	13.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
入院無料化の範囲	目標	中学卒まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで
	実績	中学卒まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度から開始した、高校1～3年生世代の入院に係る医療費保険診療分自己負担額の全額助成を継続して実施し、令和2年度は計40件、令和3年度は計72件、令和4年度は69件の利用があった。
今年度以降の取組予定
引き続き事業を実施するとともに、制度の周知を行う。

4. 評価

事業の成果等		
入院に係る医療費保険診療分自己負担額の全額助成を高校3年生世代まで拡大したことで、子育て世代の経済的負担を軽減することができる。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って事業を実施し、マニフェストを達成したと評価する。	R3	5
	R4	5
	R5	5

戦略5 子育て世帯を全力で応援

② 民間も含めた保育園の計画的な建替整備

提案	実施内容
23	保育園舎を整備する法人に対して、建設に係る費用を補助するとともに、老朽化した既存の公立保育所について、統廃合及び改築工事を行います。

担当：子ども健康部保育課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
保育園整備に係る補助及び公立保育園建替整備の実施				
1,028.8	354.6	606.7	299.8	498.7

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
園舎改築工事等に対して補助する私立保育園等の数	目標	2園	1園	1園	1園	1園
	実績	2園	1園	1園	1園	(1園)
園舎改築工事等を行う公立保育園の数	目標	1園		1園		1園
	実績	1園		1園		(1園)
※2か年度に渡る建て替え事業は、最終年度に数値を計上。		3園				

3. 進捗状況

<p><b>前年度までの実施状況</b></p> <p>【私立保育園】 令和元年度のさつき保育園園舎新設と中部保育園園舎改築工事、令和元～2年度のさくら保育園園舎改築工事、令和3年度の桜町保育園園舎改築工事、令和3～4年度の豊川北部保育園園舎改築工事、令和4年度の三蔵子保育園園舎改築工事に対して、整備費の補助を実施した。</p> <p>【公立保育園】 令和元年度に一宮西部・大木保育園統合事業に伴う大木保育園園舎改築工事、令和2年度に赤坂・長沢保育園統合事業に伴う音羽保育園園舎整備工事に係る実施設計業務、令和3年度に音羽保育園園舎整備工事、令和4年度に小坂井東保育園園舎改築工事を実施した。</p>
<p><b>今年度以降の取組予定</b></p> <p>【私立保育園】 令和5年度に、三蔵子保育園園舎改築工事に対して整備費の補助を実施する。(令和4年度からの継続事業)</p> <p>令和5年度に、民営化に伴う小坂井北保育園園舎改築工事に対して整備費の補助を実施する。(令和5年度から令和6年度までの継続事業)</p> <p>【公立保育園】 令和5年度に、小坂井東保育園園舎改築工事を実施する。(令和4年度からの継続事業)</p>

4. 評価

<p><b>事業の成果等</b></p> <p>老朽化の進む私立及び公立保育園等の建て替え事業の支援・推進により、安全で安心な保育環境の提供や、3歳未満児の受け入れ拡充等ができ、子育て環境の向上を図ることができている。</p>		
<p><b>進捗状況に対する自己評価(評点)</b></p>		
<p>令和5年度完了予定を含め、補助により改築工事等が行われた私立保育園等は6園、園舎改築工事等を行った公立保育園は3園となっており、計画的に事業を完了・進捗させているため、工程計画に沿って進んでいると評価する。</p>	R3	3
	R4	3
	R5	3

戦略5 子育て世帯を全力で応援

③ 保育園の老朽化等危険遊具の早期改修

提案	実施内容
24	保育園の既存遊具の撤去・修繕及び新規遊具を設置します。

担当：子ども健康部保育課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討及び改修工事				
改修工事				
12.9	21.0	9.6		

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
遊具整備を実施する保育園数	目標	4園	9園	6園		
	実績	4園	9園	6園		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
「遊具の安全に関する基準」に基づく点検の結果、老朽化等により安全基準を満たさないこととなった遊具について、令和元年度に遊具配置計画を策定し、同年度に4園、令和2年度に9園、令和3年度に6園の移設、撤去、新規設置を実施し、事業を完了した。
今年度以降の取組予定

4. 評価

事業の成果等		
整備工事を完了し、保育の充実と園児の安全性確保を図ることができた。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って整備を完了し、マニフェストを達成したと評価する。	R3	4
	R4	5
	R5	5

戦略5 子育て世帯を全力で応援

④ 総合保健センター内に妊産婦ケアセンター創設

提案	実施内容
25	多機能化が図られる総合保健センターの創設を見据え、産前産後のサポート体制を構築し、(仮称)妊産婦ケアセンターを運営します。

担当：子ども健康部保健センター

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討	妊産婦のニーズ把握	サポート体制の構築	(仮称)妊産婦ケアセンターの開設	
—	8.5	8.5	26.6	25.5

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
産後ケア事業の利用人数	目標	10人	18人	40人	58人	58人
	実績	10人	35人	53人	57人	(60人)
産前産後サポートセンター「くるみ」(妊産婦総合相談窓口)創設スケジュール	目標	調査・検討	ニーズ把握	サポート体制構築準備	創設	運営
	実績	調査・検討	アンケート等調査	研修及び専門職確保	R4.6創設	相談実施

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p><b>【産前産後サポート体制の構築】</b> 妊娠期から切れ目のない子育て支援を実現するための産後ケア事業について、宿泊型に加え令和2年度にデイサービス型を開始した。令和4年度からは訪問型を実施し、産後早期の母親への支援を強化するとともに、専門職を配置して授乳相談等の新たな支援事業を開始した。</p> <p><b>【産前産後サポートセンター「くるみ」(妊産婦総合相談窓口)創設】</b> 産前も含めた切れ目のない支援のさらなる充実を図るため、産前産後サポートセンター「くるみ」を創設した。相談専用電話の設置や、初産婦への「もうすぐ出産コール」の実施等により、育児準備のサポートを行った。</p>
今年度以降の取組予定
<p>産前産後サポートセンター「くるみ」を創設後、国の方針で出産・子育て応援事業が開始され、妊産婦の伴走型相談支援が追加されたため、「くるみ」の体制を調整し、連携して支援できる体制を再構築する。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>産後ケア事業は、既存の民間の事業を活用して事業展開する体制を整え、利用者が増加した。産前産後サポートセンター「くるみ」では、専門職の常勤職員やパートタイム会計年度任用職員の確保を行い、相談支援体制を充実させた運営を行うことができており、子育て環境の向上を図ることができている。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>工程計画に沿って事業を実施し、総合保健センターの開設を見据えた産前産後サポートセンター「くるみ」を創設することができたため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。</p>	R3	3
	R4	4
	R5	4

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

① 小中学校学級運営支援員の拡充

提案	実施内容
26	小中学校の要望に基づき、必要とされる学級への支援員の配置を拡充します。

担当：教育委員会学校教育課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
学級運営支援員を増員				
54.3	61.9	72.3	77.5	82.7

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
学級運営支援員の人数	目標	74人	79人	84人	89人	94人
	実績	74人	79人	84人	89人	94人

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和元年度から令和4年度にかけて、計15人の学級運営支援員の増員を行った。
今年度以降の取組予定
令和5年度は、さらに5人増員配置した。

4. 評価

事業の成果等		
各学校から学級運営支援に対する要望が多く出ている中で、支援員の増員により学級の安定化を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って事業を実施したことで、支援員の増員により学級の安定化を図ることができおり、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	4

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

② 外国籍児童生徒を対象としたこぎつね教室の拡充

提案	実施内容
27	こぎつね教室の日本語指導員を増員するとともに、学校と連携を図りながら、定員を拡充します。

担当：市民部市民協働国際課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
指導員の増員及び定員の拡充を実施				
8.9	12.9	12.8	12.9	12.8

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
こぎつね教室の日本語指導員数	目標	4人	5人	5人	5人	5人
	実績	4人	5人	5人	5人	5人
こぎつね教室の定員数	目標	60人	90人	90人	90人	90人
	実績	60人	90人	90人	90人	90人

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度までに日本語指導員を増員するとともに、児童生徒の受入れを90名とし、受入体制を拡充した。令和3年度から始めたオンライン授業による不登校児童・生徒や卒業後の子どもを対象としたアフターフォロー授業と、就学前の親子を対象とした「親子プレスクール」を継続実施し、スムーズな就学につながるよう基礎的な日本語指導を行った。
今年度以降の取組予定
引き続き、オンライン授業の活用や親子プレスクールの継続により、よりきめ細やかな受入体制と指導内容の充実を図り、日本語指導の必要な児童生徒を幅広く受入れる。

4. 評価

事業の成果等		
受入れ体制の拡充やオンライン授業の活用により、日本語の継続的な指導を行うことができ、外国籍児童生徒の学習意欲の向上や、スムーズな学校生活を送ることができる支援体制の構築ができています。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
指導員の増員と児童生徒の定員の拡充に加え、オンライン授業の活用を増やし、親子プレスクールを実施する等工程計画以上に進捗できているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	4

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

③ 地産地消の推進と「生きる力」を育む食育教育の充実

提案	実施内容
28	食育事業を実施するとともに、学校給食において豊川産農産物の使用機会を増加します。

担当：教育委員会学校給食課、産業環境部農務課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討 <span style="margin-left: 100px;">食育事業の実施</span> 				
	0.2	0.9	1.6	2.4

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
食育事業の実施小学校数	目標			1校	2校	3校
	実績			1校	2校	(3校)
学校給食における豊川産農産物の使用割合	目標	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上
	実績	10.25%	11.56%	12.15%	12.48%	(10%以上)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<b>【学校給食における豊川産農産物の使用機会】</b> 令和2年度から「豊川産農産物使用可能状況調査」を実施し、その結果に基づいた発注を行い、豊川産農産物の使用割合を向上させた。また、「豊川市こだわり農産物」についても、一部の食材で使用した。 <b>【食育事業】</b> 令和3年度に御津北部、令和4年度に御津北部小学校と一宮東部小学校において、地元の農産物を使用した朝ごはんをテーマとした家庭科授業を、地方創生に関する包括連携協定事業者と協働で行った。
今年度以降の取組予定
<b>【学校給食における豊川産農産物の使用機会】</b> 「豊川産農産物使用可能状況調査」を継続し、さらなる使用機会の増加に努めるとともに、献立コンクールや生産農家等による授業などにより、学校給食を通じた地産地消推進の啓発を行っていく。 <b>【食育事業】</b> 令和5年度は市内の小学校3校において、朝ごはんをテーマにした家庭科授業を行う。

4. 評価

事業の成果等		
学校給食における豊川産農産物使用割合の向上と、地元農家が生産する農産物を家庭科授業で活用する食育事業により、地産地消の推進と「生きる力」を育む食育教育の充実を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って事業を実施し、学校給食における豊川産農産物の使用割合を目標を上回っているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	4

戦略 7 安心して暮らせるぬくもりのまち

① 総合保健センター建設整備

提案	実施内容
29	関係団体と調整を実施し、総合保健センター(仮称)を建設します。

担当：子ども健康部保健センター

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
<p>関係団体との調整  </p> <p>基本構想・基本計画  </p> <p>基本設計  </p> <p>実施設計  </p>				
	16.4	21.0	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
総合保健センター(仮称)の建設スケジュール	目標		基本構想策定	基本計画策定	基本設計	実施設計
	実績		基本構想検討	構想・計画策定	基本設計	(実施設計)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和3年度に策定した基本構想と基本計画に基づき、令和4年度に基本設計を実施した。
今年度以降の取組予定
令和5年度に実施設計、令和6・7年度の2か年で建設工事を実施し、令和8年度の供用開始を予定する。

4. 評価

事業の成果等		
基本構想、基本計画の策定に続き、関係団体との調整を踏まえた基本設計を行い、順調に事業が進捗しており、着実に総合保健センター建設整備に向けた工程を進捗させることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	3



戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち

③ シルバー人材センター事業への支援拡充

提案	実施内容
31	シルバー人材センター事務局体制の強化や福利厚生充実を図るとともに、高齢者世帯の日常的な生活支援に係る事業の実施を支援します。

担当：福祉部介護高齢課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事務局の体制強化及び福利厚生事業の充実				
調査・検討		高齢者の生活支援に係る事業の実施		
29.2	31.5	33.0	33.0	33.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
シルバー人材センターの会員数	目標	1,050人	1,100人	1,150人	1,200人	1,250人
	実績	1,063人	1,124人	1,171人	1,232人	1,267人
ちよこっとサポート事業の実施件数	目標			300件	300件	300件
	実績			577件	924件	(815件)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【事務局の体制強化及び福利厚生事業の充実】 会員の獲得や就業機会の増大に向け、令和2年度に就業開拓及び事務局体制の強化のためのプロパー職員の採用と、会員の福利厚生事業である被服費に対する補助額を増額した。</p> <p>【高齢者の生活支援に係る事業の実施】 令和3年度から、高齢者同士の支え合い及びシルバー人材センターへの就業支援を目的として、シルバー人材センターへの委託により、高齢者世帯の日常的な生活支援を行うちよこっとサポート事業を実施した。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【高齢者の生活支援に係る事業の実施】 引き続き、ちよこっとサポート事業のさらなる周知を行って利用の拡大を図るとともに、介護・生活支援サポーター養成講座等により、ちよこっとサポート事業を始めとする生活支援事業の担い手となる高齢者の育成を行う。</p>

4. 評価

事業の成果等		
ちよこっとサポート事業の受注件数、事業の担い手になるちよこさぼ隊員数ともに年々増加しており、介護保険制度では対応できないお墓の管理や電球の取替等といった細かいニーズに対応でき、高齢者の就業機会確保と生活支援の充実を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って事業を実施し、高齢者の就業機会確保と生活支援を図る本市独自の取組を展開し、目標を上回る実績につなげることができているため、マニフェストを達成したと評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	5

戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち

④ 障がい者の積極的な採用計画

提案	実施内容
32	障害者の採用を進めるとともに、障害者のワークステーション事業を開始します。

担当：総務部人事課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討				
.....	障害者のワークステーション事業を開始			
—	11.3	14.6	14.6	14.6

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
障害者雇用率	目標	2.50%	2.50%	2.70%	2.80%	2.90%
	実績	1.78%	2.28%	2.60%	2.61%	(2.90%)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p><b>【障害者の採用】</b> 障害者雇用率向上に係る取組の検討を行い、相談窓口の設置など障害者の働きやすい環境づくりに努めるとともに、障害者の計画的かつ積極的な採用を行い、本市における法定雇用率は達成したが、目標の雇用率の達成には至らなかった。</p> <p><b>【障害者ワークステーション事業】</b> 令和2年度から事業を開始し、令和2年度は運営スタッフ3名・障害者スタッフ4名、令和3年度は運営スタッフ4名・障害者スタッフ6名、令和4年度は運営スタッフ5名・障害者スタッフ6名で運営した。</p>
今年度以降の取組予定
<p><b>【障害者の採用】</b> 引き続き、雇用率向上のための取組や採用を実施する。</p> <p><b>【障害者ワークステーション事業】</b> 運営スタッフと障害者スタッフによる、運営体制の確保と請負業務の充実に努める。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>障害者が働きやすい環境づくりに取り組み、令和元年度と令和4年度の対比で、障害者雇用数は18人増加し、雇用率は年々改善した。障害者ワークステーションが、各部署の軽易な作業を請負うことにより、市役所全体の事務の効率化につながっている。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>障害者雇用率の目標は下回っているものの、障害者ワークステーションの運営や請負体制の充実に努めることができており、工程計画に沿って進んでいると評価する。</p>	R3	3
	R4	3
	R5	3

戦略 7 安心して暮らせるぬくもりのまち

⑤ 障がい者相談事業の拡充

提案	実施内容
33	障害者の相談支援体制の強化及び医療的ケアコーディネーターの活動に対する支援を行います。

担当：福祉部障害福祉課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討	人材確保への支援	相談支援体制の強化		
51.1	52.7	65.6	65.6	72.4

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
障害者相談支援従事者初任者研修受講費助成制度	目標		実施	実施	実施	実施
	実績		実施	実施	実施	実施
基幹相談支援センターの正規職員数	目標	2人	2人	3人	3人	4人
	実績	2人	2人	3人	3人	4人
医療的ケア児等コーディネーターの配置人数(委託)	目標			1人	1人	1人
	実績			1人	1人	1人

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【人材確保への支援】 令和2年度から、障害者相談支援従事者初任者研修の受講費助成制度を開始し、令和2年度1法人、令和3年度2法人、令和4年度1法人に対して助成を実施した。令和4年度から、過年度受講者が市内事業所に配置された場合も対象となるよう、助成範囲を拡大した。 【相談支援体制の強化】 令和3年度に、基幹相談支援センターの体制を強化するため、正規職員を1人増員するとともに、医療的ケア児等総合支援事業として、医療的ケア児等コーディネーターを配置した。
今年度以降の取組予定
【人材確保への支援】 障害者相談支援従事者初任者研修受講費助成を引き続き実施し、市内の相談支援専門員増加を支えるため、市内事業所にさらなる周知を図る。 【相談支援体制の強化】 令和5年度に基幹相談支援センターの正規職員をさらに1人増員し、市内事業所のモニタリング等、新たな取組を追加して実施することにより、市内全体の相談支援の質の向上を図る。

4. 評価

事業の成果等		
基幹相談支援センター職員の増加により、困難な事例や事業所からの相談に十分に対応できている。また、医療的ケア児等コーディネーターの配置により、医療的ケア児・家族に対する支援や関係機関との連携について、先進的な取組を実施することができ、障害者福祉の質の向上を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って事業を実施し、障害者の相談支援体制を強化するとともに、医療的ケア児等への支援を先駆的に実施できているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	4

戦略8 市民の主体的な活動を応援

① 消防団員・交通指導隊員等の処遇改善

提案	実施内容
34	消防団員の処遇改善(出動手当の拡充)、スポーツ推進委員の処遇改善(報酬額等の引き上げ)、交通安全指導隊員の処遇改善(活動支援費等の拡充)を行います。

担当：消防本部消防総務課、教育委員会スポーツ課、市民部人権生活安全課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
【消防団員】	手当の拡充内容に係る、調査・検討			手当の拡充
【スポーツ推進委員】	報酬額等の引き上げに係る調	報酬額の引き上げ		
【交通安全指導隊員】	支援の拡充に係る調査・検討	活動支援費等の拡充実施		
20.2	20.2	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
消防団員の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	調査・検討	調査・検討	手当拡充
	実績	既存取組	調査・検討	調査・検討	手当拡充	手当拡充
スポーツ推進委員報酬(委員/年額)	目標	—	—	60,000円	60,000円	60,000円
	実績	50,000円	50,000円	60,000円	60,000円	60,000円
交通安全指導隊交付金(分隊割/年額)	目標	—	—	30,000円	30,000円	30,000円
	実績	20,000円	20,000円	30,000円	30,000円	30,000円

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【消防団員】 令和4年度に、災害発生時や訓練・行事における活動時間に応じた出動報酬を新設した。 【スポーツ推進委員】 令和3年度から報酬額を一律60,000円/年とした。(委員長は5,000円、副委員長は8,000円、委員は10,000円の増額) 【交通安全指導隊】 令和3年度から交通安全指導隊交付金を、1分隊あたり30,000円/年、隊員1人あたり15,000円/年とした。(1分隊あたり10,000円、隊員1人あたり2,000円の増額)
今年度以降の取組予定
【消防団員】 令和5年度から、災害に出動したものの結果的に活動が無かった場合についても報酬を支給する。 【スポーツ推進委員】 報酬額を一律60,000円/年とする支援を継続する。 【交通安全指導隊】 報酬額を1分隊あたり30,000円/年、隊員1人あたり15,000円/年とする支援を継続する。

4. 評価

事業の成果等		
消防団員の処遇改善は1年前倒しで、スポーツ推進委員と交通安全指導隊の処遇改善は計画どおり実施でき、市民の主体的な活動強化を支援することができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って事業を実施し、マニフェストを達成したと評価する。	R3	4
	R4	5
	R5	5



戦略 8 市民の主体的な活動を応援

③ ボランティア・NPOマンパワー養成事業

提案	実施内容
36	市内におけるボランティア活動に係る人材育成を目的として、各種講座の開催及びコーディネーター人材バンクの設置を行います。

担当：市民部市民協働国際課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
<p>実施内容の検討 ボランティア・NPOマンパワー養成講座の実施</p>				
<p>実施内容の検討 コーディネーター養成講座の実施</p>				
<p>実施内容の検討 コーディネーター人材バンクの設置</p>				
<p>若者ボランティア体験講座の実施</p>				
0.2	0.3	0.3	0.4	0.4

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ボランティア・NPOマンパワー養成講座の開催回数	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		2回	2回	2回	(2回)
コーディネーター養成講座の開催回数	目標				1回	1回
	実績				1回	(1回)
若者ボランティア体験講座の体験事業数	目標	26事業	26事業	27事業	27事業	28事業
	実績	26事業	16事業	10事業	21事業	(31事業)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【ボランティア・NPOマンパワー養成講座】令和2～4年度に、各年度2講座を開催した。</p> <p>【コーディネーター養成講座及び人材バンクの設置】協働体制をコーディネートする人材を育成するためのコーディネーター養成講座(全5回講座)を新たに開催した。また、協働のまちづくり体制の構築を図るため、令和5年2月にまちづくりコーディネーター人材バンクを新設し、コーディネーター養成講座を受講した市民の中から8人が登録された。</p> <p>【若者ボランティア体験講座】引き続き若年層を対象に、事業を選択してボランティア活動を体験できる講座を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、選択できる事業数のうち3事業が中止となった。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【ボランティア・NPOマンパワー養成講座】引き続き、毎年テーマを変えて開催し、ボランティア・市民活動団体の知識、技術の向上を支援する。</p> <p>【コーディネーター養成講座及び人材バンクの設置】引き続き、講座を開催して人材育成を行うとともに、人材バンク登録者数の増加とバンクに登録した人材の活用を図り、協働のまちづくりを推進する。</p> <p>【若者ボランティア体験講座】新しい分野の体験事業を設定し、参加者数の増加を図る。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、若者ボランティア体験講座の事業数が目標より減少したものの、ボランティア・NPOマンパワー養成講座を計画どおり開催するとともに、多くの受講者に対し、ボランティア活動への関心度・参加意欲の向上を図ることができ、若い世代の人材育成を行うことができている。また、令和4年度から新たにコーディネーター養成講座を開催し、工程計画を前倒して受講後に人材バンクに登録する仕組みを創設したことで、協働体制の強化を図ることができている。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、若者ボランティア体験講座の事業数は目標を達成できていないが、地域の人材育成を行う養成講座を計画どおりに開設するとともに、人材バンクを前倒して設置できたことから、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。</p>	R3	<b>3</b>
	R4	<b>3</b>
	R5	<b>4</b>

戦略9 みんなで行動する環境のまち

① 再生エネルギーの活用促進

提案	実施内容
37	家庭における再生可能エネルギーの活用促進に係る支援を拡充します。

担当：産業環境部環境課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
再生可能エネルギー活用促進に係る支援の拡充				
6.3	15.0	17.0	17.0	8.9

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
住宅用地球温暖化対策設備設置補助件数	目標	140件	170件	180件	180件	160件
	実績	137件	167件	168件	196件	(290件)
住宅用地球温暖化対策設備設置補助額	目標	6,300千円	15,000千円	17,000千円	17,000千円	8,900千円
	実績	5,957千円	14,588千円	15,791千円	18,329千円	(18,500千円)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
「住宅用燃料電池システム設置」、「住宅用リチウムイオン蓄電池システム設置」及び「住宅用地球温暖化対策設備一体的導入設置」補助制度について、令和2年度から補助件数及び補助額を拡充し、令和4年度の全体の補助額は、過去3か年で1番多い活用実績となった。
今年度以降の取組予定
需要の高い「住宅用リチウムイオン蓄電池システム設置費補助」と「住宅用地球温暖化対策設備一体的導入設置費補助」については、令和5年度は令和4年度よりさらに補助件数を多く見込んだ予算措置を行うとともに、「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス;エネルギー収支をゼロ以下にする家)」や「住宅用太陽熱利用システム設置費補助」を新たに補助メニューに追加し、再生可能エネルギーの活用促進を一層図る。

4. 評価

事業の成果等		
工程計画では、令和2年度から令和4年度までの支援拡充予定であったが、市民のニーズが高い支援制度であり、令和5年度も引き続き拡充と新規の支援制度の創設も行った。家庭における二酸化炭素排出量の抑制を図るための事業効果を高め、カーボンニュートラルの推進を支えることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
市民ニーズを踏まえた補助制度の拡充により、工程計画以上に事業を実施できているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	4

戦略9 みんなで行動する環境のまち

② パーク・アンド・ライドの推進

提案	実施内容
38	パークアンドライド推進のための調査を行い、公共駐車場の拡充整備等を実施します。

担当：都市整備部市街地整備課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施内容の検討				
—	175.3	74.0	13.1	13.1

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
パークアンドライド推進に係る調査	目標	検討	調査委託			
	実績	検討	調査委託			
愛知御津駅前公共駐車場の整備	目標		用地取得	整備工事		
	実績		用地取得	整備工事		
公共駐車場IC等対応の実施	目標			検討調査	整備工事	検討調査
	実績			検討調査	検討調査	(検討調査)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【パークアンドライド推進調査】 令和2年度に調査検討を行い、事業推進の課題と取組の方向性の整理を行った。</p> <p>【愛知御津駅前公共駐車場】 令和3年度に一部用地にて整備工事を実施し、令和4年3月1日に供用開始した。</p> <p>【公共駐車場IC等対応】 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う駐車料金収入の減収により、令和4年度に予定していた豊川駅東駐車場における料金収受に係る交通系IC対応機器の整備工事を先送りすることとしたため、今後の整備方針について継続して検討を行った。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【愛知御津駅前公共駐車場】 愛知御津駅の周辺整備に合わせて、令和10年度以降に、一部未整備地の拡張を行う。</p> <p>【公共駐車場IC等対応】 現行機器の更新時期と指定管理者の更新時期等を勘案しながら、実施内容の検討調査を継続して行う。</p>

4. 評価

事業の成果等		
愛知御津駅前公共駐車場に、交通系IC対応の第2駐車場を整備したこと、また、西小坂井駅前と愛知御津駅前公共駐車場の30分未満の利用を無料化し、キスアンドライド(最寄駅まで送迎してもらい、そこから公共交通機関に乗り換えて通勤や通学などを行う方法)に対応したことにより、パークアンドライド推進のための環境整備を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、公共駐車場IC等対応の整備工事を先送りしているものの、パークアンドライド推進のための調査や検討を着実に進めているため、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	3

戦略9 みんなで行動する環境のまち

③ 地域猫に対する補助制度創設

提案	実施内容
39	クラウドファンディングによる支援者の確保を図り、地域猫に対する補助制度を創設します。

担当：産業環境部環境課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施内容の検討 <span style="float:right">クラウドファンディングの実施</span> 				
—	0.1	1.0	1.0	1.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
クラウドファンディングによる寄附金額	目標		1,000,000円			
	実績		5,047,492円		2,576,000円	
地域猫不妊去勢手術費補助件数	目標		100件	100件	100件	100件
	実績		188件	307件	265件	(100件)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p><b>【クラウドファンディング】</b> 令和2年度に実施したクラウドファンディングでは、全国の賛同者から目標額の5倍以上の寄附・支援を受けることができた。また、想定以上の不妊去勢手術費補助制度の利用があったことから、令和4年度にも追加でクラウドファンディングを実施し、こちらも目標以上の寄附・支援を受けることができた。</p> <p><b>【地域猫不妊去勢手術費補助制度】</b> 令和元年度まで飼い主のいない猫による糞尿被害等の対応に苦慮していたが、寄附金を原資とした補助制度の構築により、地域猫に関する課題解決に取り組む団体の活動を支援した。本制度は市民の関心が高く、制度開始後、多くの問合せ・相談が寄せられ、目標件数を大きく上回る補助件数となった。</p>
今年度以降の取組予定
<p>飼い主のいない猫による糞尿被害等の相談が寄せられる地域を中心に、市民活動を中心とした地域猫活動(飼い主のいない猫を増やさない活動)がさらに定着するよう、補助制度の周知活動と活用促進に取り組む。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>補助件数は目標件数を上回り、98団体が地域猫活動団体として登録する等、地域猫活動が市内に浸透している。また、交通事故等による猫の死亡件数が、平成30年度の465件をピークに令和元年度には453件であったものが、令和4年度には336件に減少する等、高い事業効果が現れている。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画以上に事業を実施し、マニフェストを達成したと評価する。	R3	5
	R4	5
	R5	5

戦略 10 行財政改革と健全財政の堅持

**① 職員の意識改革と職員研修の充実**

提案	実施内容
40	愛知県等への職員派遣の増員、政策立案等に関する研修、ハラスメント防止研修を行います。

担当：総務部人事課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
愛知県等への職員派遣の増員				
●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
実施内容の検討		政策立案研修の実施		
●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
ハラスメント防止研修の実施				
●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
—	0.5	0.9	0.9	0.9

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
愛知県への職員派遣人数	目標	2人	3人	3人	3人	3人
	実績	3人	3人	4人	5人	(4人)
政策立案研修	目標		検討	1式	1式	1式
	実績		検討	1式	1式	(1式)
ハラスメント防止研修の実施回数(新任係長対象・管理職員対象)	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		2回	2回	2回	(2回)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【職員派遣の増員】 愛知県へ令和元・2年度に3人、令和3年度に4人、令和4年度に5人の派遣を実施した。なお、国の機関へも令和2年度に1人、令和3年度に3人、令和4年度に2人の派遣を実施した。</p> <p>【政策立案研修】 令和3年度から新たに、主任、係長級職員を対象とした政策立案研修を実施し、令和4年度は政策立案と事業スクラップに関する研修を実施した。</p> <p>【ハラスメント防止研修】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、図書の配布やeラーニングによる研修実施となったが、令和3年度はWEB研修と集合研修、令和4年度は集合研修を実施した。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【職員派遣の増員】 令和5年度は、愛知県への派遣職員数を4人とし、国の機関への派遣を1人としている。</p> <p>【政策立案研修】 引き続き、各部局から推薦された係長級職員を対象に研修を実施する。</p> <p>【ハラスメント防止研修】 引き続き、新任係長級職員と新任課長級職員を対象に研修を実施する。</p>

4. 評価

事業の成果等		
当初の計画を超える人数の職員を県と国へ派遣したこと、また、新規研修を実施したことにより、具体的な政策立案に係るノウハウの習得等、積極的な業務遂行と円滑な組織運営に関する能力の向上を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度以降、計画を上回る職員数を派遣するとともに、計画に沿って研修を実施することで、職員の資質向上に資する取組を着実に実施できているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	4

戦略10 行財政改革と健全財政の堅持

② 公共施設の安全性・機能向上と総量削減

提案	実施内容
41	新たなモデルエリアの再編整備に向けた調整・検討を行います。

担当：財務部財産管理課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
—	7.7	7	20.0	58.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新たなモデルエリア(一宮地区)の再編整備	目標	庁内検討	基本構想	基本計画	基本設計	実施設計
	実績	庁内検討	基本構想	基本構想	基本計画	(基本設計)
(参考)一般公共施設の総延べ床面積	目標	491,000㎡	491,000㎡	496,000㎡	494,000㎡	493,500㎡
	実績	496,967㎡	492,549㎡	492,096㎡	492,028㎡	(491,149㎡)

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民参画によるワークショップや基本構想検討委員会が予定どおり開催できなかったため、令和2年度に計画していた基本構想の策定が令和3年度にずれ込んだが、令和4年度に、一宮地区公共施設再編整備基本計画策定委員会と、ワークショップ、住民説明会を実施し、令和5年3月に一宮地区公共施設再編整備基本計画を策定した。
今年度以降の取組予定
令和5年度に、設計業務(令和5年度基本設計、令和6年度実施設計)を実施し、令和9年度の複合施設(庁舎等)竣工、令和10年度の体育施設竣工を目指す。

4. 評価

事業の成果等		
一宮地区再編整備は計画より1年遅れではあるが、ワークショップと住民説明会において、概ね地域市民の理解を得られており、一般公共施設の総延べ床面積は目標値以上に削減できており、公共施設適正配置を推進することができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
一宮地区再編整備の工程計画が1年遅れとなったものの、一般公共施設の総延べ床面積削減は目標以上に進捗しているため、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	2
	R4	2
	R5	3

戦略 10 行財政改革と健全財政の堅持

③ 一般会計市債残高の30億円削減

提案	実施内容
42	市債残高の削減による健全な財政運営を行います。

担当：財務部財政課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市債残高の削減				
未定	未定	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

(単位:億円)

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標
一般会計市債残高	当初予算	—	410	414	398※	379※	382
	決算	412	400	390	381※		
(参考)R元年度決算値との差	当初予算	—	▲2	2	▲14	▲33	▲30
	決算	—	▲12	▲22	▲31		

※R4年度、R5年度の一般会計市債残高当初予算値及びR4年度の一般会計市債残高決算値は、R4年度に借入を行ったまちづくり振興基金積立に係る合併特例債9億5,000万円を差し引いた金額

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和4年度までにおいて、対令和元年度決算値比で市債残高を31億円削減し、381億円となった。
今年度以降の取組予定
総合保健センター(仮称)整備や消防署本署庁舎整備を始めとする大型建設事業に対応するため、市債発行額の増加が想定されることから、国県補助金や財政調整基金を始めとする基金を活用する等、年間借入額を極力抑制しつつ、引き続き持続可能で健全な財政運営に努める。

4. 評価

事業の成果等		
令和4年度決算値で目標値を上回る削減を達成でき、令和5年度予算値においてもさらなる削減を見込むことができた。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和4年度の予算では目標達成が微妙な状況となったものの、決算では31億円削減を実現できたため、マニフェストを達成したと評価する。	R3	1
	R4	2
	R5	5